

第3回 鶴岡市介護保険事業計画等策定に係る追加ご意見について

NO	委員意見(要約)	計画への反映状況及び回答	
1	<p>< 基本目標Ⅰの評価指標について ></p> <p>①地域ケア会議を通じて地域課題の解決に係る取組が行われた数について令和5年度はなぜ行われなかったのか？</p> <p>②地域ケア個別会議開催回数が55件とあるがどんな成果があり、令和6年度では増やしてもいいと考えているか。</p> <p>< 基本目標Ⅰについて ></p> <p>③懇話会開催時にも意見が出されていたが「相談支援体制の整備」について、一番最初にどこに相談したらよいか明確に示されていると住民は安心すると思う。住民の中には、「地域包括支援センター」もわからない方がいると思うので、まずは気軽に相談できる窓口(できれば地域ごと)が住民にわかるようにケアシステムの中にでも表示できればと思います。</p>	<p>①地域課題の解決に係る取組についてはこれまでも各地域及び市全体で行われているが、8期計画(令和5年度)までは評価指標を会議の開催数としてきたため、地域課題の取組が行われた全体数については集約を行っていなかったことから、表中の令和5年度実績の見込みには件数が入っていないものである。</p> <p>9期計画より、「地域課題の把握と解決に向けた取組を通じて高齢者等が暮らしやすい地域づくりを支援する」という地域ケア会議の目的を踏まえ、取組の成果や達成度を適切に評価するため、本指標に変更した。</p> <p>②地域ケア個別会議の成果については開催を通じて、心身状態の虚弱等により支援を必要とする高齢者個人が抱える課題について地域包括支援センターや担当のケアマネジャー、担当の民生委員・児童委員等が協働し、解決を図るとともに地域課題の把握につなぐことができた。</p> <p>例としては、見守り支援を要する認知症高齢者について、地域の支援者と協働した支援方針の検討と支援につなげたことなどが挙げられる。</p> <p>また、支援方針の検討を通じて、「認知症高齢者の把握が難しく支援につながりにくい」という地域課題が把握され、地域ケアネットワーク会議で解決に向けた協議が行われ、認知症カフェの開催等を通じた地域住民に対する認知症への理解の促進と地域包括支援センター等の相談窓口の周知を行うことが検討され、実施された。</p> <p>9期計画期間中の開催数は8期期間中の開催状況を踏まえ目標値として設定したが、今後、認知症高齢者や後期高齢者数の増加により、個別会議の対象となる地域の関係者と協働した対応が必要とされるケースも増加することが予想されるため、開催回数を増やして対応できるよう目標値を変更する。</p> <p>③住民からの最初の相談先のひとつに、中学校区ごとに設置している地域包括支援センターがある。基本目標Ⅰの基本施策Ⅰにおいて「(1)①様々な課題を丸ごと受け止める相談支援体制の充実」を主な取組みの1つとし、基本施策2において「地域包括支援センターの機能強化」をあげた。計画本文の中に、地域包括支援センターが「高齢者の総合相談窓口」であることを明記するとともに、今後も紙媒体の活用や市ホームページの掲載を継続し「総合相談窓口」についての情報発信の工夫及び周知啓発を図っていく。</p>	<p>回答</p> <p>反映</p> <p>反映</p>
2	<p>< 基本目標Ⅱの評価指標について ></p> <p>①シルバー人材会員数の推計が横ばいになっているが、増えないのはなぜか。</p>	<p>①シルバー人材センターの会員数は、定年延長の影響により60代等の入会数が減少しており、会員の高齢化に伴う健康・体力的な理由などによる退会者が入会者を上回っていることから、令和2年度から毎年減少しているものです。</p>	<p>回答</p>
3	<p>< 基本目標Ⅴについて ></p> <p>①以前から旧市内と庁舎エリアのサービス提供事業所の質、量ともに格差があること、市内のサービス提供事業所を希望しても送迎の距離や移動時間がかかることで断られる現状をお伝えしている。第1回懇話会で、事務局から「実情、実態をつかんで検討することは必要であり、検討してまいりたい」と返答があったが、計画案では読み取れず、今後実態把握を行う予定はあるか。</p>	<p>①基本目標Ⅴの基本施策Ⅰにおいて、「(2)②介護保険事業者間のネットワークの強化」を主な取組みの1つとしている。この取組みにおける「介護保険事業者同士のネットワーク構築」には、コロナ禍で活動が停止していた介護保険事業者連絡協議会の各部会の活動再開も含まれており、それぞれの部会活動の際に各サービス種別の実態や課題等を把握していきたいと考えている。</p> <p>加えて、必要に応じてアンケート調査や事業者へのヒアリングなども行いながら、面積が広い本市の特性等をふまえたサービス提供の充足度合いの違いなどの実態の深掘りや対応策の検討に取り組んでいく。</p>	<p>回答</p>